

COP15 の結果について

農政環境部環境管理局大気課

コペンハーゲン合意を承認

COP15 は、19 日午前、全体会合を開き、主要二十数か国の非公式首脳会合で決めた「コペンハーゲン合意」について、議長が「合意に留意する」と提案し、承認された。

(1)コペンハーゲン合意文書の概要

- ・世界の気温上昇を科学的な見地から2度以内に抑制
- ・先進国は京都議定書よりも排出削減を強化。1月31日までに目標を提示。
- ・途上国は1月31日までに排出抑制計画を提示。技術・資金支援を得た場合には国際的に監視。
- ・先進国は10～12年に総額300億ドルの途上国支援。20年までに年1000億ドルの拠出を目指す。
- ・技術移転を促す枠組みを構築

(2)COP15 開催概要

- ・開催期間 12月7～19日
- ・開催場所 デンマーク国 コペンハーゲン市
- ・参加規模 190以上の国・地域（うち首脳出席が100以上の国・地域）、約4万人

(参考) 国の中期目標の概要

- ・2020年の温室効果ガス排出量を1990年比25%削減
- ・京都メカニズム、森林吸収による削減分を含む。内訳は未定。
- ・目標達成のための主な施策（「地球温暖化対策の基本法」(案)より）

}	目標値は各国の動向を見極め最終判断
---	-------------------

キャップ&トレード方式による国内排出量取引

地球温暖化対策税

再生可能エネルギーの固定価格買取制度